第２号様式　別紙１　　（令和 7 年度計画分　事業活動環境報告書）

氏名 （法人にあっては名称）	中国電力株式会社
住所	広島県広島市中区小町４－３３
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 10 年 3 月 31 日
基準年度(*1)	令和 6 年度

１　事業者の要件（⑴、⑵については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量

該当する事業者の要件	☑ ⑴原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上（特定事業者） ☐ ⑵エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上（特定事業者） ☐ ⑶特定事業者以外の事業者

２　事業の概要

事業者の業種	主として管理事務を行う本社等 （主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号： 3300 ）
事業概要	昭和26年設立、広島市内に本社を置き、中国地方5県を中心として電気事業を行っている。

３　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

⑴　温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

（※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比　((a-b)/a)×100　（aは基準年度の実排出量））

項　　目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和 6　年度	令和7～令和9年度（平均値）	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和7～令和9年度（平均値）
温室効果ガス実排出量(*5)	187,714 t-CO_2	185,900 t-CO_2	317,666 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.0　%	-69.2　%	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*6)		185,900 t-CO_2	317,666 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.0　%	-69.2　%	%	%	%
実績に対する自己評価	基準年度と比較して南原発電所の稼働率が上昇したことから増加した。（南原発電所は揚水式水力発電所であり、需要と供給のバランスにより稼働状況が変化することに伴って、揚水動力に必要な電気使用状況も変化し、結果、温室効果ガス実排出量が増減する）					

*1　基準年度とは、温室効果ｶﾞｽの抑制度合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去３か年度の平均値とすることができる。

*2　特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。

*3　原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。

*4　温室効果ｶﾞｽ排出量とは、二酸化炭素（ｴﾈﾙｷﾞｰ起源のもの及び非ｴﾈﾙｷﾞｰ起源のもの）、ﾒﾀﾝ、一酸化二窒素、ﾊｲﾄﾞﾛﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ、ﾊﾟｰﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ及び六ふっ化硫黄）の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。

*5　温室効果ｶﾞｽ実排出量とは、上記(*4)のうちｴﾈﾙｷﾞｰ起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ｶﾞｽ排出量が特定事業者単位で3,000ﾄﾝ以上のものの排出量の合算をいう。

*6　温室効果ｶﾞｽみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ｶﾞｽみなし排出量は、温室効果ｶﾞｽ実排出量と等しく

⑵　事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標の達成状況　（※任意記載）

（※原単位の下段は削減量の対基準年度比　((a-b)/a)×100 ）

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和 6　年度	令和7～令和9年度（平均値）	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和7～令和9年度（平均値）
		%	%	%	%	%
		%	%	%	%	%
		%	%	%	%	%
原単位の指標及び実績に対する自己評価						

⑶　温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

実施した温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置は以下の通りである。

・空調設備の実績を踏まえた効率的運転の検討および実施。
・照明の部分消灯、ＬＥＤ化、不要時消灯徹底。
・温水洗浄便座の暖め、温水機能の停止。
・「エコ・オフィス実践行動プラン」に基づいた取り組みの実施。

⑷　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値(*8)の活用等）

特になし

４　その他の取組の実施状況

【原子力】・島根原子力発電所2号機の安定稼働　・島根原子力発電所3号機の早期稼働
【再生可能エネルギー／調整力】・既存水力発電の出力増加　・浮体式洋上風力の新規開発の検討
・下松発電所跡地における系統用蓄電システムの導入
【火力】　・柳井発電所新2号機の稼働　・大崎クールジェンにて負荷調整力向上に向けた研究
【脱炭素化に資するサービスの開発／事業展開】
・ペロブスカイト太陽電池、蓄電池などを活用したサービスの開発・展開
・再エネ電源（オンサイト・オフサイト）の開発・省エネ・CO２削減コンサルティングの提供展開

*7　原単位とは、温室効果ｶﾞｽ排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいい
*8　環境価値とは、ｵﾌｾｯﾄｸﾚｼﾞｯﾄ制度等により、温室効果ｶﾞｽの排出削減等を行うﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄを通じて生成される温室効果ｶﾞｽの削減量等をいう。なお、温室効果ｶﾞｽみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

第２号様式　別紙３　　（令和 7 年度計画分　事業活動環境報告書）

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

（※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要）

事業所の名称	中国電力株式会社　小町ビル
事業所の所在地	広島市中区小町４－３３
事業所の業種	主として管理事務を行う本社等
事業の概要	主として管理事務を行う本社事業所である。

１　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

⑴　温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

（※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比　((a-b)/a)×100　（aは基準年度の実排出量））

項　　目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和 6　年度	令和7～令和9年度（平均値）	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和7～令和9年度（平均値）
温室効果ガス実排出量(*4)	4,227 t-CO_2	4,185 t-CO_2	3,864 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.0　%	8.6　%	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		4,185 t-CO_2	3,864 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.0　%	8.6　%	%	%	%
実績に対する自己評価	引き続き空調設備の効率的な運用を実施し温室効果ガス排出量の削減に努める。					

⑵　温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

2025年度中に実施した温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置
（空気調和設備）
・空調設備の運転実績に基づく効率的運転の検討および実施
（その他）
・昼休み・残業時等の不要な場所の照明消灯
・近隣階への移動時の階段利用
・退社時にはパソコン等のコンセントを抜く　等

⑶　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

特になし

２　その他の取組の実施状況

2025度中に実施した環境配慮に関するその他の取組
・事務用紙使用量の削減・リサイクル実施
・グリーン製品の積極的な購入・使用
・廃棄物の分別の徹底・再資源化の実施
・社員に対する環境教育の実施

第２号様式　別紙３　　（令和 7 年度計画分　事業活動環境報告書）

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

（※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要）

事業所の名称	中国電力株式会社　宇品ビル
事業所の所在地	広島市南区宇品西４丁目４番３３号
事業所の業種	主として管理事務を行う本社等
事業の概要	主として管理事務を行う本社事業所である。

１　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

⑴　温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

（※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比　((a-b)/a)×100　（aは基準年度の実排出量））

項　　目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和 6　年度	令和7～令和9年度（平均値）	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和7～令和9年度（平均値）
温室効果ガス実排出量(*4)	4,448 t-CO_2	4,400 t-CO_2	3,953 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.1　%	11.1　%	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		4,400 t-CO_2	3,953 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.1　%	11.1　%	%	%	%
実績に対する自己評価	目標と比較して温室効果ガスの排出量平均値が減少している。引き続き今まで以上に節電対策を徹底したい。					

⑵　温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

実施した温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置は以下のとおりである。

・照明の部分消灯実施、不要時消灯徹底、一部の照明にLEDを使用
・廊下等共用部分の空調温度調整
・温水洗浄便座の温め・温水機能の停止
・電気温水器の設定温度調整
・居室等およびトイレなどの給排気ファンの運転時間見直しによる運用改善の取り組み

⑶　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

特になし

２　その他の取組の実施状況

・事務用紙使用量の削減・リサイクル実施
・廃棄物の分別の徹底・再資源化の実施
・水道使用量の削減取組の実施

第２号様式　別紙３　　（令和 7 年度計画分　事業活動環境報告書）

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

（※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要）

事業所の名称	中国電力（株）中電病院
事業所の所在地	広島市中区大手町３丁目４－２７
事業所の業種	一般病院
事業の概要	中国電力が運営する企業立病院。最先端のがん検査機能を持つPET-CTを有する。

１　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

⑴　温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

（※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比　((a-b)/a)×100　（aは基準年度の実排出量））

項　　目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和 6　年度	令和7～令和9年度（平均値）	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和7～令和9年度（平均値）
温室効果ガス実排出量(*4)	4,011 t-CO_2	3,932 t-CO_2	3,764 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		2.0　%	6.2　%	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		3,932 t-CO_2	3,764 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		2.0　%	6.2　%	%	%	%
実績に対する自己評価	前年度に比べ電気使用量、重油の使用量ともに削減できており、前年度よりも排出量を抑えることができた。引き続き節電対策に努めていきたい。					

⑵　温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

省エネ活動の推進・徹底によりエネルギー負荷の低減を図った。

・ボイラの効率的運用(気温変化に応じた運転調整)
・不要な照明の消灯
・休日、夜間における電気機器の主電源ＯＦＦ
・近隣階への移動時はエレベーターは使用せず、階段を利用
・設備更新時の高効率機器の積極的採用(一部LED照明を実施)

⑶　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

特になし。

２　その他の取組の実施状況

・事務用紙使用量の削減・リサイクルに努めた。
・グリーン製品の積極的な購入・使用に努めた。
・廃棄物の再資源化率の向上に努めた。
・社員への環境教育を実施した。
・環境保全活動（清掃活動等）を実施した。
・水道使用時における節水を意識したこまめな止水を実践した。

第２号様式　別紙３　　（令和 7 年度計画分　事業活動環境報告書）

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

（※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要）

事業所の名称	中国電力（株）南原発電所
事業所の所在地	広島県広島市安佐北区可部町大字南原
事業所の業種	電気業
事業の概要	水力発電所（揚水式）での発電事業

１　温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

⑴　温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

（※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比　((a-b)/a)×100　（aは基準年度の実排出量））

項　　目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和 6　年度	令和7～令和9年度（平均値）	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和7～令和9年度（平均値）
温室効果ガス実排出量(*4)	172,968 t-CO_2	171,300 t-CO_2	304,170 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.0　%	-75.9　%	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		171,300 t-CO_2	304,170 t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2	t-CO_2
		1.0　%	-75.9　%	%	%	%
実績に対する自己評価	基準年度と比較して稼働率が上昇したことから増加した。（当該事業所は揚水式水力発電所であり、需要と供給のバランスにより稼働状況が変化することに伴って、揚水動力に必要な電気使用状況も変化し、結果、温室効果ガス実排出量が増減する）					

⑵　温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

省エネ活動の推進・徹底によりエネルギー負荷の低減を図った。

・不要な照明の消灯
・休日、夜間における電気機器の主電源ＯＦＦ
・設備更新時の高効率機器の積極的採用(一部LED照明を実施)

⑶　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値の活用等）

特になし

２　その他の取組の実施状況

・グリーン製品の積極的な購入・使用に努めた。
・廃棄物の再資源化率の向上に努めた。
・社員への環境教育を実施した。
・環境保全活動（清掃活動等）を実施した。